

# 「ルポ刑期なき収容

## ～医療観察法という社会防衛体制」

講師

浅野 詠子さん (フリージャーナリスト)



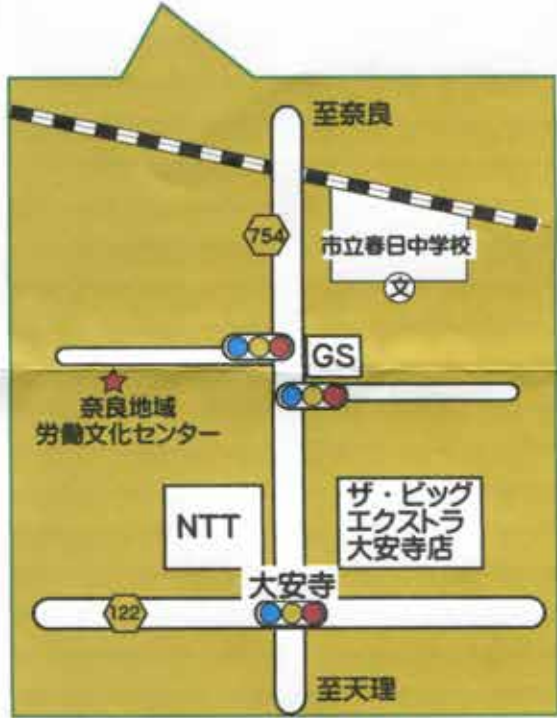
神奈川県平塚市出身。1985年、青山学院大学経営学部を卒業。奈良新聞記者として20余年にわたり、地方財政や公共事業の課題、景観問題などを取材。総務省や群馬県主催の公募懸賞論文にいずれも入賞した。市民が創る奈良マニフェスト運動(2004年)実行委員。分権サロンを主宰。奈良県地方自治研究センター理事(2014年～)

日時：2015年8月29日(土) 午後1時30分～

会場：奈良地域労働文化センター4F 小会議室

(住所：奈良市大安寺5丁目12-16 TEL：0742-64-1005)

この2年間、触法(容疑)の精神障害者だけを収容し、強制治療をする特殊な病棟を取材しました。奈良県内は33床、全国でも800床ほどの小さな規模で、ほとんど国民に知られていません。小泉政権のときに法案(医療観察法)が出され、人権上の疑念から、民主、社民、共産は反対しましたが、強行採決で可決し、本年は施行10年になります。「回復しているのに、地域に受け皿がなく、長期の収容を余儀なくされている人がいる」「司法と医療の双方を規定した法律なのにセカンド・オピニオンがない」など、人権を制限する事実。一方、体感治宥度の悪化や厳罰化の潮流、そして何よりも精神障害についての社会の無理解などを背景に、こうした人権の制限は、ほとんど顧みられない。障害者福祉、人権などの面から、この機会に皆様と意見交換ができればと思います。



主催：奈良県地方自治研究センター

